

健心

題字：山田無涯書

平成23年1月4日発行

発行所

高岡市柔道連盟

TEL 23-4658

FAX 28-2755

編集発行

広報部



高校総体8月8日から12日 沖縄県立武道館まえにて

「十八年ぶりの全国高校総体」

高岡龍谷高等学校

柔道部監督 岩城裕之

平成2年に全国高校総体柔道競技大会の女子団体戦がはじめて開催され、第一回大会から三年連続出場して以来、十八年ぶりの団体出場を果たすことができました。

生徒数が減少していく中、柔道人口も減少し、ましてや富山県は県立志向型で部員確保に四苦八苦しました。生徒募集も兼ねて市内中学校の強化練習会に参加させてもらつたり、底辺を育てることからとスポーツ少年団の指導者として参加させてもらつたり、高岡武道館で誰もが練習できる環境にできないかと、高岡市柔道連盟主催で「健心会」を開催して頂いたりと底辺の大拡大に協力していく中で、高岡市内の中学校を中心に素晴らしい選手を送ってもらえるようになつてきました。

昨年も全国高校総体に出場するチャンスはあつたと思ったのですが、今一步のところでは届かず、今年こそは全国の頂点を目指そうと選手と練習に励んで来ました。その結果、女子団体戦で三位と個人戦で二人が準優勝という好成績を挙げることが出来ました。

これもひとえに、高岡市柔道連盟の先生方の指導や声援・協力を頂いたお陰だと心より感謝しております。特に「健心会」では、市内中学生や高岡法科大学の学生、一般の方々の胸を借りたことが最大の力になつたと思います。まだまだ一、二年生を中心とした若いチームなので、来年に向けて躍進したいと思います。

「貴重な経験」

高岡龍谷高等学校
三年 深谷 麻未



富山県高校總
体団体戦で優勝

して、全国大会
に出場すること
ができました。

私自身、全国大
会という大舞台
に出場するには
初めてで、三年生最後の大会で出場
が決まった時はとても嬉しかったで
す。

ち三年生は各進路に進んでいきます。
ことを感じ、経験することができま
した。今思えば、辛い練習を暑い夏
も寒い冬も皆で頑張ってきたことが、
第三位という結果につながったので
はないかと思います。
この素晴らしい経験を胸に、私た
ち三年生は各進路に進んでいきます。

「来年こそは・・・」

高岡龍谷高等学校
二年 佐野 賀世子



一本、それ
まで。

私は、決勝戦
と全国大会が行
われている会場
内に、審判の声
が響き渡りまし
た。

私は、決勝戦
で負けてしまいました。技をかけた
瞬間、相手にきれいに合わせられ、
我に返ると自分が開けられないくらい
の天井の光が私を眺む。その一瞬の
出来事に驚きと同時に悔しさが溢れ
出でてきました。

私は、沖縄
県那覇市で行
われた全国高
等学校総合体
育大会柔道競
技大会に出場
しました。また、私にとって団体戦
での出場は初めてであり、不安と緊
張で一杯でした。

私は、八月八
日からの沖縄県
で開催された全
国高等学校総合
体育大会柔道競
技大会に出場し
ました。私は、
一年生ながら團

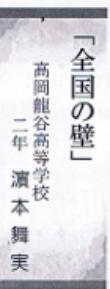
たが、この決勝の敗戦で頂点に立つ
難しさや歓しさを痛感しました。
私は全国大会で、「優勝」という
タイトルを取るために、今まで以
て共に競い合った仲間に感謝して
います。次の全国大会では、「優勝」
というタイトルを手にしたいと思
います。

最後になりましたが、高岡市柔道
連盟の先生方をはじめ指導して下さっ
た監督やコーチ、保護者の方々、そ
して共に競い合った仲間に感謝して
います。最後になりましたが、高岡市柔道
連盟の先生方をはじめ指導して下さっ
た監督やコーチ、保護者の方々、そ
して共に競い合った仲間に感謝して
います。次回の全国大会では、「優勝」
というタイトルを手にしたいと思
います。

決勝戦は優勝候補との対戦で、先鋒、
中堅と善戦したものの負けてしまい、
私も体格差ある相手に思いつきりぶ
つかって負けてしまいました。
私はこの大会で全国優勝と言う壁
の大きさを見せつけられたよう思
いました。しかし、この大会を通して、
これまで気持ちで負けていたこ
とも多かった自分がチームメイトや
先輩方の声援や支えで大きな相手に
がつきました。そして、「この負けた
悔しさをばねに、来年もう一度挑戦
したい」と思いました。

「全国の壁」

高岡龍谷高等学校
二年 清本 舞実



私は、沖縄
県那覇市で行
われた全国高
等学校総合体
育大会柔道競
技大会に出場
しました。また、私にとって団体戦
での出場は初めてであり、不安と緊
張で一杯でした。

私は、八月八
日からの沖縄県
で開催された全
国高等学校総合
体育大会柔道競
技大会に出場し
ました。私は、
一年生ながら團

「挑戦者として」

高岡龍谷高等学校
一年 長内 香月



私は、八月八
日からの沖縄県
で開催された全
国高等学校総合
体育大会柔道競
技大会に出場し
ました。私は、
一年生ながら團

私は、団体戦のメンバーとして選
ばれましたが、他の選手よりも体も
小さくパワーでも劣るので、最後の
大会はキャプテンとして、チーム一
致団結して全国大会に臨めるようにな
と選手をまとめようと思いました。

一・二年生を中心の若い元気なチーム
をまとめるのは大変でしたが、みんな
素直によく聞いてくれました。日本
のチームワークで臨むことがで
きたと思いません。

全国大会では順調に勝ち進み、準
決勝戦では優勝候補の東京都渋谷高
校との対戦です。残念ながら負けで
しまったのですが、第三位という素
晴らしい結果を残すことができまし
た。勝ったときの嬉しい気持ち、負
けたときの悔しい気持ちといろん
な

で負けてしまいました。技をかけた
瞬間、相手にきれいに合わせられ、
我に返ると自分が開けられないくらい
の天井の光が私を眺む。その一瞬の
出来事に驚きと同時に悔しさが溢れ
出でてきました。

私は、決勝戦
の相手は、昨年準々決勝戦
で敗れた相手で、あれほど組み手や
対戦研究や対策を立ててきたのに、
こんなにあつけなく終わってしまい、
今までの努力が何だったのか、自分
自身が情けなくて仕方がありません
でした。去年より成績は上回りました
が、この決勝の敗戦で頂点に立つ
難しさや歓しさを痛感しました。

私は、決勝戦
の相手は、昨年準々決勝戦
で敗れた相手で、あれほど組み手や
対戦研究や対策を立ててきたのに、
こんなにあつけなく終わってしまい、
今までの努力が何だったのか、自分
自身が情けなくて仕方がありません
でした。去年より成績は上回りました
が、この決勝の敗戦で頂点に立つ
難しさや歓しさを痛感しました。

体戦と個人戦に出場することができました。

今大会での私の目標は、「挑戦者として、一つひとつを勝ち取り、全国優勝する」でした。そのため、必死で練習に取り組み、相手の試合のビデオを見て研究をしますなど、勝つための練習をしてきました。私は、全国大会が近くにつれて、どんな相手と勝負ができるのか、どのくらい「技」が通用するのか、どのくらい「力」が発揮できるのか、不安と緊張と期待で胸が一杯でした。

大会初日は団体戦で、私は先鋒で駆け出しました。初戦から順調に勝ち進みました。しかし、先輩達はそんなこと何ひとつ感じさせないで、試合に立ち向かっていました。試合が熱くなる度にチームが盛り上がりひとつ輪になりました。その結果、全国三位に入賞することは出来ました。

今年の高校総体は悔しい思いで終わってしまいました。これからは、大会で悔し涙を流すのではなく嬉し涙を流せるよう、練習に励んでいきたいと思います。最後に、いろいろな方々に応援をして頂きありがとうございました。

大会初日は団体戦で、私は先鋒で駆け出しました。初戦から順調に勝ち進みました。しかし、先輩達はそんなこと何ひとつ感じさせないで、試合に立ち向かっていました。試合が熱くなる度にチームが盛り上がりひとつ輪になりました。その結果、全国三位に入賞することは出来ました。

今年の高校総体は悔しい思いで終わってしまいました。これからは、大会で悔し涙を流すのではなく嬉し涙を流せるよう、練習に励んでいきたいと思います。最後に、いろいろな方々に応援をして頂きありがとうございました。

大会初日は団体戦で、私は先鋒で駆け出しました。初戦から順調に勝ち進みました。しかし、先輩達はそんなこと何ひとつ感じさせないで、試合に立ち向かっていました。試合が熱くなる度にチームが盛り上がりひとつ輪になりました。その結果、全国三位に入賞することは出来ました。

今年の高校総体は悔しい思いで終わってしまいました。これからは、大会で悔し涙を流すのではなく嬉し涙を流せるよう、練習に励んでいきたいと思います。最後に、いろいろな方々に応援をして頂きありがとうございました。

「富山インターハイに向けて」

高岡龍谷高等学校
一年 小松 那奈



私は、インターハイ団体戦の補欠として出場しました。

「全国大会に参加して」

高武館低学年チーム
四年 小川 結崇



日本少年少女武道錬成大会
本武道館で開催された全国大会に高武館少年少女として参加しました。

八年一日に本武道館で開催された全国大会に高武館少年少女として参加しました。

八年一日に本武道館で開催された全国大会に高武館少年少女として参加しました。

八年一日に本武道館で開催された全国大会に高武館少年少女として参加しました。

ぼくにどうでこういう大きな大会はじめてだったので、力を出し切れなかつたことは、くやしかつたけど、ここで学んだことをしつかり生かして毎日の練習をがんばろうと思いました。

「日本武道館へ行って思つたこと」

西条スポーツ少年団
四年 大屋りん

わたしは八月一日に行われた、「全国少年少女武道錬成大会」の団体戦の低学年の副将として試合に出ました。

一勝二敗でわたしの番が回ってきました。初めての大会だから勝てるかどうか、緊張しましたが、大外刈りで勝つことができました。大将につなぐことができほつとしました。

大将戦は引き分け以上でないといけません。何度もピッチがあり、「たえろ」とさけんでいました。代表戦はわたしが出ました。緊張で思うように技がかけれず、有効で負けました。

あの時の自分を振り返ると、今もくやしい気持ちになります。来年は満足できる試合ができるよう、もっと練習をがんばりたいなあと思いました。

八幡君が引き分けになつたのぼくは、自分の柔道をして、がんばろうと思つて試合をしてました。

相手は体が大きくてなかなか技をかけさせてくれませんでした。あせつたところを投げられ、負けてしまいました。ぼくはとつてもくやしかつました。

けれど、次の宮本君が一本勝ちして八幡君が引き分けになつたのぼくは、自分の柔道をして、がんばろうと思つて試合をしてました。

相手は体が大きくてなかなか技をかけさせてくれませんでした。あせつたところを投げられ、負けてしまつました。

インターハイが開催されます。それまでに「精神力」「技」「体力」を磨き鍛えて、今まで以上の成績を收められるように練習していきたいと思つました。

「思い出に残る一勝」

櫻心柔道塾
六年 鎌塚 祐太



父の勧めで兄
と一緒に櫻心柔
道塾に通うよう
になつてはや六
年、スポーツ少
年団の最後の年
を迎えるました。

僕にとって八月
に日本武道館で行われた、「全国少
年少女武道錬成大会」は、これまで
の努力の成果を試す最高の舞台でした。
が過去二回、一度も勝つことが
なく、くやしい思いをしてきました。
ぜひ勝つて心に残る大会にしたいと
いう思いで大会にのぞみました。
開会を告げる大きな太鼓の音、入
場行進では、僕が旗をもたせてもら
いました。とても緊張しましたが、
気持ちが引きしまりました。

さて、いよいよ一回戦、絶対に勝
ちたい、強い気持ちでみんな試合に
のぞみました。結果は4-0での勝
利、初めて団体で勝つことができま
した。「一回戦は、あっという間に負
けてしまいましたが、いつも以上の
力を出せたと思います。この喜びを
胸に、いつかまた日本武道館で試合
ができることを目標に柔道を続けて
いきたいです。

4月19日

高岡地区柔道教室

7月26日

激励会

9月23日

高岡地区中学校大会

年間
ス
十

ツ

7



6月27日

7月25日

編集後記



■高岡市柔道連盟の携帯サイト
<http://takajuren.jugem.jp>

高岡柔道連盟
西条 哲



■高岡市柔道連盟公式サイト
<http://高岡市柔道連盟.jp/>
または<http://judo-boy.jp/>

■専用アドレス
takajuren@judo55.com



高岡年
西条哲

秋季錬成大会